

# ザフィマニリの村に いそろう 居候する研究者



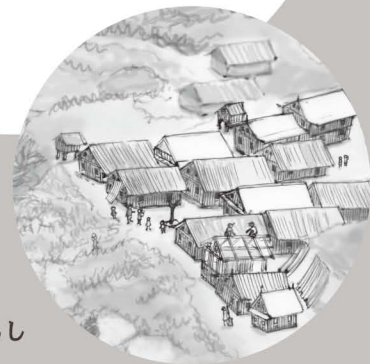
村に来て  
何週間も住んでいると、  
短期滞在では  
わからなかったことが  
わかってくるなあ。

Taku

飯田卓、日本生まれ、43歳。  
マダガスカルでの調査歴18年、  
ザフィマニリ地域では4年。

## 民族学者が見た ザフィマニリ地域の将来

ザフィマニリ地域は交通が不便だけれど、けっして外界から隔絶されているわけではない。近年はユーロの価値が下落して金の価格が上がったため、ザフィマニリの人たちは砂金掘りを始めている。国家の統制がおよぶ前に、私企業がザフィマニリを相手に商売しているようだ。こうした辺境の動きは、民族学も経済学も目を配っていかなければなるまい。



特別展 マダガスカル 霧の森のくらし

2013年3月14日(木)～6月11日(火)

● 国立民族学博物館

## ザフィマニリの村に居候する研究者

### 1 【マダガスカルってどこ？】

マダガスカルを知っているという人でも、その地理認識は曖昧。インドの南東にあるとか(スリランカでしよう)、南米の西のほうにあるとか(ガラパゴスでしよう)。この種のまちがいは意外に多いので、講演などではかならず最初に紹介するようにしている。

### 2 【水田をつくる】

マダガスカルにも、雨の多いところと少ないところがある。霧の森の前に西海岸で調査をしたことがあるが、雨が少なく井戸の水が塩からかった。それに比べると、霧の森の水はとてもおいしい。

### 3 【焼畑をつくる】

ビデオではわからないが、焼畑の現場では地温がほんとうに高い。焼畑を撮影しているカメラマンをサポートしようと、彼のかばんを持ちながら離れないようついて行った。歩けないというわけではないので、危険を意識しなかったが、撮影が終わってみると、カメラバッグの肩ひもが地面にたれて熱で溶けていた。もっと注意すればよかった。

### 4 【遊びをつくる子どもたち】

子どもは、面白いおもちゃがあるとなんでもまねる。竹とんぼを日本からおみやげに持っていったら、村じゅうにあつというまに広まった。10日ほどして別の村に行くところでももう広まっていた。それまでマダガスカルで竹とんぼを見なかったのだから、あらたに流行したのだと思う。

### 5 【木造家屋のくらし】

家のなかで再現展示をするとき、ぜひ置きたかったのはベッドと水がめ。いずれも大きいので、特別展開催にあわせて持ち帰ることができなかった。素焼きの水がめは、近年ではプラスチック製容器にとって代わられたが、古いものをまだ使っている家庭が多い。

敷物を置いたことで、家のなかが落ち着いた。懐かしくて泊まってみたい気分。

### 6 【植物を編む】

女性の仕事をこれまで見過ごしていたが、専門家に同行して調査してみればじめて気づいたことが多かった。編みの文様も、木彫り文様と同様にシクチャ(sikotra)というシクチャを浮き彫りと訳していたけれど、単純に文様と訳するのがよさそうだ。

### 7 【植物を編む】

編みの調査をリードしてくれた女性研究者は、完成した帽子や敷物のつくりかたを見ながら、基本的な編みかたをわずかの期間でマスターした。ザフィマニリの人たちは男も女も驚いていて、子どもたちもこれくらい呑み込みが早いとやりやすいと言っていた。

### 8 【木を彫りだす】

このハチミツ容器、すべて同じ村で買ったもの。そこは外国人があまり通らないので、アンティークを買ってもらおうと多くの村人がわたし(研究者)の滞在中に集まった。石造りの家の2階でいろいろ買いつけたのだけれど、品物を持ってくる人や野次馬があまりにもたくさん集まったので、2階の床が抜けちゃった！大きなケガをした人がいなくて幸いだった。

### 9 【家をつくる】

建材に用いられる樹種はたくさんあって、今回展示したのはほんの一部。山に入っても木の種類が多くて覚えきれない。日本人生態学者に手伝ってもらって調査したところ、120平米の面積で101種の樹種が確認された。日本や東南アジアには、これほど樹種数が多い森はなかなかないらしい。

### 10 【アンタナナリヴ大学コレクション】

窓の表面をよく見ると、表面にわずかな凸凹があって、斧や鉋を使いながら表面を平らにしているのがわかる。手作業はこんなところにもあらわれているのだ。

### 11 【商品化される木彫り＝西洋式椅子】

このタイプの椅子は、展示したもののほか、調査中に一度だけ見た。自動車を通る数少ないザフィマニリ村のひとつのゲストハウスで。座面に割れめが入り、そうとうに古いものにみえた。材料も労力もコスト高のこの椅子は、あまり作られた例がないらしい。1980年代に資料を収集した大英博物館の人も、こんなものは見なかったと言っていた。

### 12 【商品化される木彫り＝組みたて式椅子】

西アフリカのマリに行ったとき、同じタイプの椅子を見た。マダガスカルでは、ザフィマニリ地域以外でこのタイプの椅子はつくられていない。たぶん、同じフランスの植民地だった西アフリカの木製品を参考にして、ザフィマニリの人々がマダガスカルで最初につくったのだろう。